

親子聖書日課

NO.1666 2020.8/30-9/5 名前

[日]エドムの裁きの日が、イスラエルの救いの日であったように、罪の裁きの日は、主を信じる者にとっては、贖いの日です。主は「彼らの苦難を常にご自分の苦難」とされました。世の終りの日は、恐怖ではなく、救いの完成の日として待ち望もう！

[月]神が造られたものに、出来損ないは一つありません。「御手の業」として皆、丹精に造られました。お互いに高価で尊い存在であることを知らないで、「いじめや虐待」が起こるのです。愛されるために、神に造られたことを伝えましょう。

[火]主は不信仰な者をすぐ裁かれるのではありません。「絶えることなく手を差し伸べて」来られました。どうしても悔い改めない時、裁かれるのです。ただ罪を認めるだけでなく、本心から主に立ち帰りましょう。主はその時を待っておられます。

[水]主は新天新地である天国を創造されました。そこで主を信じる者は、永遠に喜び楽しみ、主と親しく交われるのです。「狼と小羊は共に草を」食べるほど、平和に満ちた世界が訪れます。主の救いは完成し、神との関係は完全に回復します。

[木]イザヤ書の最後は、新天新地で全ての人が主を礼拝するハッピーエンドで終わったわけではありません。主に背いた人の哀れな姿が記されています。信仰生活は御言葉に聴従し、死に至るまで忠実であることです。神第一の生活をしましょう。

[金]「涙の預言者」と呼ばれたエレミヤは、田舎に住む内気で気の弱い青年でした。主はそんな弱い人を召されるのです。自分の弱さを知っている人こそ、主に強くされるからです。「主がご入用なのです」と、喜んで仕える人を主は求めておられます。

[土]「生ける水の源」である主を捨て、「無用の水ため」である偶像を掘っている人が何と多いことでしょうか。水ためは、にごって腐り、もれてなくなりますが、主の与えて下さる命の水は、泉のごとく常に新しく流れ出て、決して涸くことはありません。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 63:1-19	主が心に定めた報復の日は、主の何の年でしたか。	
月	64:1-11	私たちは皆、主の何ですか。	
火	65:1-16	主は反逆の民に、絶えることなく手をどうしますか。	
水	65:17-25	見よ、主は何と何を創造されましたか。	
木	66:1-24	すべての肉なる者は主の前に来て、どうすべきですか。	
金	エレミヤ 1:1-19	主はあなたを聖別し、何として立てましたか。	
土	2:1-19	生ける水の源である主を捨てて、何を掘りましたか。	
		感想と祈りの課題	